

## 【IoT×工数管理】サイコロ型 IoT デバイス Smart CUBE を株式会社 TMJ 様に導入し、コールセンター業務を可視化

IoT、AI等のデジタル技術を活用して企業のデジタルトランスフォーメーション（以下、DX）を支援するアジアクエスト株式会社（本社所在地：東京都千代田区飯田橋 代表取締役：桃井純 以下、アジアクエスト）はサイコロ型 IoT デバイス Smart CUBE（スマートキューブ）を活用した工数管理ソリューションを株式会社 TMJ 様（本社所在地：東京都新宿区、代表取締役：丸山英毅）に導入しました。

アジアクエスト ⇒ <https://www.asia-quest.jp/>

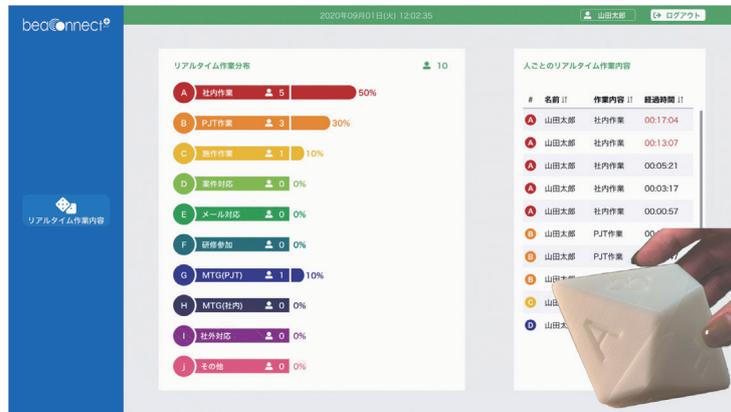


### ■工数管理の手間を抑え、業務時間・業務内容の見える化を図る

これまで株式会社 TMJ 様のコールセンター業務における工数管理は、オペレーターが Excel マクロシステムに手動で登録していましたが、ディスプレイ上ウィンドウの切り替えの手間等により、正確な計測ができていないという問題がありました。そこで、オペレーターの稼働した時間の把握と、業務内容の正確な可視化を目的に、2020年9月よりアジアクエストの開発したサイコロ型 IoT デバイス「Smart CUBE」シリーズを導入しました。従来の六面体の Smart CUBE を TMJ 様向けに十面体にカスタマイズしました。視覚障害の方でも使えるように面のアルファベットは凹凸で表現されています。オペレーターは手元の Smart CUBE を自分の業務内容に紐づく面に転がすだけで、簡単かつリアルタイムに業務報告を行えます。また責任者は、当社の提供する IoT プラットフォーム「beaconnect plus（ビーコネクト プラス）」の Web ページ上で、各オペレーターの業務内容を一元的に把握することができるために、リアルタイムに適切なアプローチが可能になります。このように Smart CUBE シリーズを活用することで、作業ごとの工数管理、そして取得したデータを分析することで作業の効率化を目指します。

SmartCUBE シリーズについてはこちら

<https://prtimes.jp/main/html/rd/p/000000021.000019319.html>



### ■サイコロ型 IoT デバイス SmartCUBE で作業状況が一目瞭然に

従来の方法では、工数管理が手動で手間かつヒューマンエラーによるデータの精度が低い——この問題を解決するのが Smart CUBE です。サイコロ型 IoT デバイス Smart CUBE は各面と管理したい作業内容を紐付けることで、使用者の工数を自動でデータ化し、集計します。そのため、紙や PC など手動で都度入力する手間をなくします。また責任者が現場にいらなくても、各担当者の作業状況や集計されたデータを beaconnect plus の Web 画面上で可視化でき、作業者に対して適切なアプローチが可能です。Smart CUBE シリーズを活用することで、工数の管理や分析、作業の効率化につなげることも可能です。

### ■アジアクエスト株式会社について

アジアクエストは、企業の DX を支援する「デジタルインテグレーター」です。通常のシステムインテグレーションだけでなく、お客様の DX を共に考えるコンサルティングから、DX に必要なデジタルテクノロジーを駆使したシステムの設計、開発、運用までを一貫して請け負います。IoT、AI、Cloud、Mobile、Web、UI/UX の各デジタル分野の専門テクノロジーチームを有し、お客様のゴールに向けて最適なプロジェクトチームを編成します。DX に関する豊富な知見と幅広い技術力により、ビジネスモデルの有効性や技術的な課題を検証する為の PoC の実施やデジタルに対応した大規模なシステムの構築まで、スピーディーな対応が可能です。

## 【本件に関するお問い合わせ先】

アジアクエスト株式会社 宮崎 (ミヤザキ)

TEL : (03) 6261-2701

e-mail : [pressrelease@asia-quest.jp](mailto:pressrelease@asia-quest.jp)

URL : <https://www.asia-quest.jp/>